

運用報告書（全体版）

スーパーファンド・ジャパン サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング

ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て、米ドル建て）

作成対象期間（第17期）：自 2025年1月1日 至 2025年12月31日

～ 受益者の皆様へ ～

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当サブファンドの第17期の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ファンド形態	ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て、米ドル建て）	
信託期間	信託設定日は2009年6月5日、償還日は設定日から150年後	
運用方針	マスターファンドの投資顧問会社が随時選定するテクニカル分析ソフトウェアを使用したトレーディング・シグナルに基づいて運用されます。当サブファンドのマスターファンドは、投資機会を活かし、最新のトレーディング戦略を利用する予定であるため、将来の運用について、現時点で既定されたものではなく、またいかなる制限を受けるものでもありません。マスターファンドの投資顧問会社は、マスターファンドが上場先物及び店頭デリバティブ（外国為替取引を含みます。）の取引においてレバレッジを用いることにより高い収益が見込めると判断したときに、レバレッジを利用することができます。	
主要投資対象	当サブファンド	スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCのサブファンドであるスーパーファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング・ファンド分別ポートフォリオの利益参加シェア
	マスターファンド	貴金属（金、銀、プラチナ、パラジウム等）のETF等、及び金鉱会社や銀鉱会社等のそれら金属に焦点を当てる株式等
分配方針	現段階では分配を行う予定はありません。但し、管理会社はその裁量で分配を決定する権利を留保しています。	

（注1）本書中における米ドルの円貨換算は、別段の表示のない限り、2026年5月20日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝159.04円）によります。

（注2）円貨への換算は、本書において該当する各数値につき、所定の換算率で単純計算の上、必要に応じて四捨五入しています。したがって、本書中の同一情報につき異なった数値で円貨表示がなされている場合があります。

【管理会社】
スーパーファンド・ジャパン・
トレーディング（ケイマン）リミテッド

【代行協会員】
スーパーファンド・ジャパン株式会社

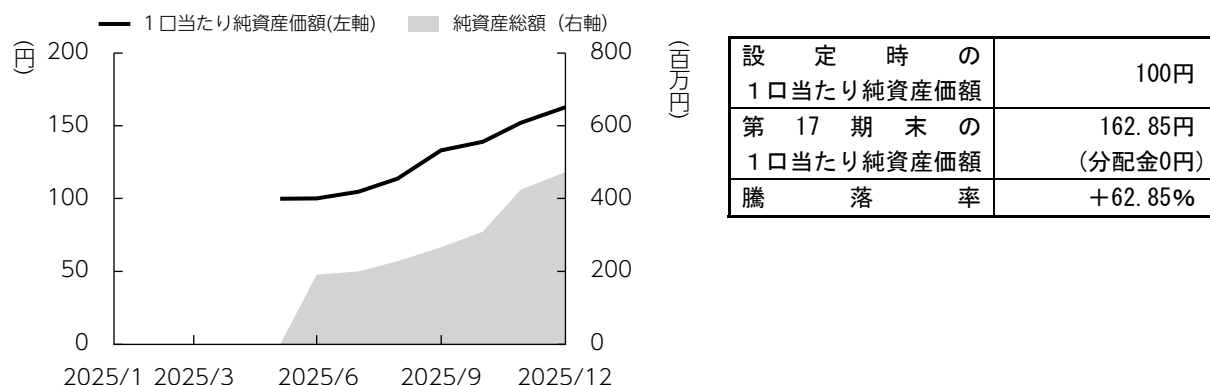
目 次

1. 資産の運用の経過	P. 1
2. 運用状況の推移	P. 3
3. ファンドの経理状況	P. 4
4. 費用の明細	P. 42
5. 当期末における純資産額計算書	P. 42
6. 投資の対象とする有価証券及びその他の資産	P. 43
7. 投資の対象とする不動産、金銭債権及び手形	P. 43
8. お知らせ	P. 43

1. 資産の運用の経過

■当期の1口当たり純資産価額等の推移について（2025年1月1日～2025年12月31日）

■円ヘッジ無し・クラス（ファンドの運用は2025年6月3日から開始）



（注1）当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

（注2）騰落率は、設定時の1口当たり純資産価額との比較において計算しています。

（注3）サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注4）サブファンドにベンチマークは設定されていません。

（注5）当サブファンドの米ドル・クラスについては、購入実績がないため、情報がありません。以下同じです。

■1口当たり純資産価額の主な変動要因

【円ヘッジ無し・クラス】

主として金、銀、パラジウム及びプラチナ並びにその他の金属に焦点を当てる株式、証書、ETF、その他の証券及びファンドに投資をします。実質的に株式に投資をするので、当サブファンドの純資産価額は、株価変動の影響を受けます。また、特定の業種・テーマに絞った株式に（実質的に）投資を行いますので、より幅広い業種・テーマで株式に分散投資した場合と比べて純資産価額が大きく変動する場合があります。

円ヘッジ無し・クラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

【米ドル・クラス】

主として金、銀、パラジウム及びプラチナ並びにその他の金属に焦点を当てる株式、証書、ETF、その他の証券及びファンドに投資をします。実質的に株式に投資をするので、当サブファンドの純資産価額は、株価変動の影響を受けます。また、特定の業種・テーマに絞った株式に（実質的に）投資を行いますので、より幅広い業種・テーマで株式に分散投資した場合と比べて純資産価額が大きく変動する場合があります。

■投資環境について

2025年の世界の金融市場は、ボラティリティの上昇に特徴づけられました。通商政策の変化、金融政策に関する不確実性、地政学的緊張が、投資家心理の急速な変動を引き起こしました。ドナルド・トランプ氏の大統領復帰が全体の基調を形成し、財政拡張や保護主義政策への期待が各資産クラスの動向に大きな影響を与えました。米国株式市場は、テクノロジー及び小型株セクターの上昇に支えられ、相対的な強さを示しました。一方、欧州市場は、低成長やフランス及びドイツの政治的不安定性を背景に出遅れました。債券市場は、中央銀行がインフレリスクと景気減速の間で難しい判断を迫られたことから、変動の大きい展開となりました。特に日本では、日本銀行が前年7月以来初めて政策金利を引き上げ、当初0.5%、その後0.75%と、過去30年間で最高水準に達した点が注目されました。コモディティ市場も大きく変動しました。原油価格は1月に一時1バレル75米ドルを上回りましたが、年末には約57米ドルで終了しました。一方で金は安全資産需要の高まりを受け、繰り返し過去最高値を更新しました。為替市場では、経済の分化が反映され、米ドルは年初に強含みましたが、その後は下落しました。デジタル資産も、規制動向やリスク選好の変化により大きく変動しました。

■ポートフォリオについて

＜当サブファンド＞

当サブファンドは、マスターファンドへの投資によって当該マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。結果、マスターファンドへの投資比率は、概ね95%以上を維持しました。

＜マスターファンド＞

マスターファンドは、原則として実物資産の裏付けのある貴金属（金、銀、パラジウム及びプラチナ）関連ETF及び上場鉱山会社株式を投資対象とする株式ファンドです。

コモディティ市場は、地政学リスク、供給制約、需要構造の変化により大きく変動しました。金価格は安全資産需要により3月に1オンス3,000米ドルを超え、その後は4,000米ドルに迫る水準まで上昇しました。銀価格も工業需要とインフレ懸念に支えられて好調でした。テクノロジー及び小型株セクターが主役となった株式市場では、鉱山会社株式は、相対的に低いバリュエーションではありましたが、資源価格の上昇や堅調な市場全体の流れから堅調な実績を実現しました。本戦略は2025年6月から運用開始いたしましたが、堅調な運用実績を実現することができました。

■今後の運用方針

今後の運用方針については、これまでの投資方針が引き続き採用され、マスターファンドと同一の投資目的を追求する予定です。

■分配金について

当サブファンドには分配金はありません。

2. 運用状況の推移

当サブファンドは2025年6月3日に運用を開始したため、当該計算期間以前の計算期間に係る純資産総額、1口当たり純資産価額、及び収益分配金に関する情報は存在しません。

当サブファンドの収益率は以下のとおりです。

年度	収益率
	円ヘッジ無し・クラス
自2025年1月1日 至2025年12月31日	+62.85%

(注) 当サブファンドは2025年6月3日より運用が開始されたため、2025年6月3日から2025年12月31日の期間の収益率を表示しています。

当サブファンドの純資産総額及び1口当たり純資産価額の推移は以下のとおりです。

円ヘッジ無し・クラス		純資産総額 (円)	1口当たりの純資産価額 (円)
	2025年12月	472,431,254	162.85

(注1) 1口当たりの純資産価額は、小数点以下第2位まで計算されています。

(注2) 過去の業績は、将来の業績を示し保証するものではありません。

2025年12月31日に終了した計算期間において、確定した分配金はありません。

3. ファンドの経理状況

当サブファンドが含まれている「スーパーファンド・ジャパン」の経理状況は以下のとおりです。なお、マスターファンド及びアンダーライング・マスターファンドの財務諸表については、EDINET（金融庁の開示書類閲覧ホームページ <https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/>）に開示された有価証券報告書等（ファンドコード「G07555」）をご覧ください。

スーパーファンド・ジャパンーサブファンド・グリーン 貸借対照表

2025年12月31日現在

（単位：日本円）

資産

ファンドへの投資（公正価値）	
（原価：1,432,482,812 円）	2,110,278,392
投資先ファンドからの未収金	56,775,845
現金	3,427,478
外貨建て現金（原価：20,624,029 円）	21,078,607
関連会社に対する債権	942,195
その他の資産	2,587,774
	2,195,090,291

負債

前受申込金	1,000,000
投資先ファンドへの未払金	4,645,098
未払買戻金	61,732,622
未払金及び未払費用	10,300,121
	77,677,841

純資産

2,117,412,450

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

	米ドル	円
ゴールド円クラス受益証券1口当たり純資産：		
発行済 5,301,071 口に基づく		
(2025年12月31日現在におけるゴールド円クラスの株式の 価値合計：1,850.49オンス (金))	—	235.67
(2025年12月31日現在の金価格：675,121.45円)	0.000オンス (金)	
シルバー円クラス受益証券1口当たり純資産：		
発行済 1,474,308 口に基づく		
(2025年12月31日現在におけるシルバー円クラスの株式の 価値合計：23,481.82オンス (銀))	—	179.69
(2025年12月31日現在の銀価格：11,281.93円)	0.016 オンス (銀)	
円クラス受益証券1口当たり純資産：		
発行済 6,056,735 口に基づく (単位：円)	—	50.07
ゴールド米ドル・クラス受益証券1口当たり純資産：		
発行済 618,925口に基づく		
(2025年12月31日現在におけるゴールド米ドル・クラスの 株式の価値合計：218.49 オンス (金))	1.52	241.74
(2025年12月31日現在の金価格：675,121.45円)	0.000オンス (金)	
シルバー米ドル・クラス受益証券1口当たり純資産：		
発行済 135,359 口に基づく		
(2025年12月31日現在におけるシルバー米ドル・クラスの 株式の価値合計：3,190.94 オンス (銀))	1.70	270.37
2025年12月31日現在の銀価格：11,281.93 円)	0.024 オンス (銀)	
米ドル・クラス受益証券1口当たり純資産：		
発行済 1,288,919 口に基づく (単位：米ドル)	0.58	92.24

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン
投資明細書

2025年12月31日現在

(単位：日本円)

銘柄（純資産における％）	償還条件	株式数	原価	公正価値
ファンドへの投資（公正価値）（99.66％）				
マネージドフューチャーズ				
スーパーファンド・グリーン・ゴールド				
SPC B：クラスBジャパン（円）及び				
クラスBジャパン（米ドル）				
（65.74％）	週次	503,281	749,415,331	1,391,988,346
スーパーファンド・グリーン				
SPC B：クラスBジャパン（円）、				
クラスBジャパン（米ドル）、				
クラスBジャパン（シルバー米ドル）及び				
クラスBジャパン（シルバー円）				
（33.92％）	週次	654,282	683,067,481	718,290,046
ファンドへの合計投資額（公正価値）				
（99.66％）		円	1,432,482,812	2,110,278,392

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン
損益計算書

2025年12月31日に終了した年度

(単位：日本円)

費用

事務管理報酬	1,067,440
専門家報酬	18,987,619
受託会社報酬	2,196,536
代行協会員報酬	1,817,611
管理報酬	1,817,573
その他の費用	779,120
	26,665,899

正味投資損失	(26,665,899)
--------	--------------------

投資及び外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動

投資及び外貨に係る正味実現損失	(9,260,850)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	936,244,365
	926,983,515

営業活動から生じた純資産の正味増加額	900,317,616
--------------------	-------------------------

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン
純資産変動計算書

2025年12月31日に終了した年度

(単位：日本円)

営業活動

正味投資損失	(26,665,899)
投資及び外貨に係る正味実現損失	(9,260,850)
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	936,244,365
	900,317,616

資本取引

ゴールド円クラス受益証券の発行	3,200,000
シルバー円クラス受益証券の発行	7,200,000
円クラス受益証券の発行	2,400,000
ゴールド米ドル・クラス受益証券の発行	10,449,967
ゴールド円クラス受益証券の買戻し	(639,091,691)
円クラス受益証券の買戻し	(24,812,664)
シルバー円クラス受益証券の買戻し	(14,716,140)
ゴールド米ドル・クラス受益証券の買戻し	(3,119,277)
米ドル・クラス受益証券の買戻し	(12,462,277)
シルバー米ドル・クラス受益証券の買戻し	(253,103,780)
	(924,055,862)

当期純資産減少額

(23,738,246)

期首純資産残高

2,141,150,696

期末純資産残高

2,117,412,450

期末純資産の内訳：

ゴールド円クラス	1,249,303,696
ゴールド米ドル・クラス	147,506,644
円クラス	303,251,745
米ドル・クラス	116,430,101
シルバー円クラス	264,920,286
シルバー米ドル・クラス	35,999,978
	2,117,412,450

添付の注記は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンスーパーファンド・グリーンCジャパン
貸借対照表

2025年12月31日現在

(単位：日本円)

資産

マスターファンドへの投資	98,573,783
現金	11,701,082
その他の資産	4,223,977
	114,498,842

負債

未払金及び未払費用	2,564,822
	2,564,822

純資産

111,934,020

円クラス受益証券1口当たり純資産：

発行済 1,285,796 口に基づく（単位：日本円）

米ドル・クラス受益証券1口当たり純資産：

発行済 1,097,221 口に基づく（単位：米ドル）

米ドル	円
—	36.39
0.38	60.44

添付の注記並びにスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン・スーパーファンド・グリーンCジャパン
損益計算書

2025年12月31日に終了した年度

(単位：日本円)

マスターファンドから配分された正味投資損失

受取利子	1, 851, 054
その他収入	828, 326
費用	(6, 175, 162)
	(3, 495, 782)

サブファンドの費用

事務管理報酬	1, 068, 062
受託会社報酬	2, 184, 374
代行協会員報酬	102, 499
管理報酬	102, 497
専門家報酬	2, 140, 561
その他費用	755, 675
	6, 353, 668

正味投資損失 (9, 849, 450)

サブファンドの外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動

外貨に係る正味実現損失	(548, 118)
外貨に係る未実現利益の変動	501, 424
	(46, 694)

マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る
正味実現利益及び未実現利益の変動

投資及び外貨に係る正味実現利益	14, 085, 275
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	4, 525, 594
	18, 610, 869

営業活動から生じた純資産の正味増加額 8, 714, 725

添付の注記並びにスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンスーパーファンド・グリーンCジャパン
純資産変動計算書

2025年12月31日に終了した年度
(単位：日本円)

営業活動

正味投資損失	(9,849,450)
投資及び外貨に係る正味実現利益	13,537,157
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	5,027,018
	8,714,725

資本取引

円クラス受益証券の買戻し	(2,392,043)
米ドル・クラス受益証券の買戻し	(14,722,357)
	(17,114,400)

当期純資産減少額	(8,399,675)
----------	-------------------

期首純資産残高	120,333,695
---------	-------------

期末純資産残高	111,934,020
---------	-------------------------

期末純資産の内訳：

円クラス	46,795,739
米ドル・クラス	65,138,281
	111,934,020

添付の注記並びにスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・マスターの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン・スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ
貸借対照表

2025年12月31日現在

(単位：日本円)

資産

マスターファンドへの投資	1,046,125,711
マスターファンドからの未収金	4,469,028
現金	13,364,448
外貨建て現金（原価：59,995円）	59,807
その他資産	185,209
	1,064,204,203

負債

未払買戻金	5,369,379
前受申込金	960,000
外貨建て銀行当座貸越（原価：131,629 円）	131,163
未払金及び未払費用	2,306,365
	8,766,907

純資産

1,055,437,296

ゴールド円クラス受益証券1口当たり純資産

発行済 4,979,811 口に基づく

(単位：日本円)

200.80円

円クラス受益証券1口当たり純資産

発行済 1,143,417 口に基づく

(単位：日本円)

48.54円

添付の注記並びにスーパーファンドSPC分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン・スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ
損益計算書

2025年12月31日に終了した年度

(単位：日本円)

マスターファンドから配分された正味投資損失

受取利息	876,031
費用	(15,680,114)
	(14,804,083)

サブファンドの費用

受託会社報酬	4,578,165
販売会社報酬	4,290,717
専門家報酬	3,180,443
事務管理報酬	1,194,477
管理報酬	715,015
代行協会員報酬	715,120
その他費用	1,534,831
	16,208,768

正味投資損失	(31,012,851)
--------	--------------------

サブファンドの外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動

外貨に係る正味実現損失	(3,417,870)
外貨に係る未実現利益の変動	12,481
	(3,405,389)

マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る
正味実現利益及び未実現利益の変動

投資及び外貨に係る正味実現利益	362,634,783
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	150,969,977
	513,604,760

営業活動から生じた純資産の正味増加額	479,186,520
--------------------	-------------------------

添付の注記並びにスーパーファンドSPC分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ

純資産変動計算書

2025年12月31日に終了した年度

(単位：日本円)

営業活動

正味投資損失	(31,012,851)
投資及び外貨に係る正味実現利益	359,216,913
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	150,982,458
	479,186,520

資本取引

ゴールド円クラス受益証券の発行	309,710,000
ゴールド円クラス受益証券の買戻し	(139,758,091)
円クラス受益証券の買戻し	(21,280,946)
	148,670,963

当期純資産増加額

627,857,483

期首純資産残高

427,579,813

期末純資産残高

1,055,437,296

期末純資産残高の内訳：

ゴールド円クラス	999,937,701
円クラス	55,499,595
	1,055,437,296

添付の注記並びにスーパーファンドSPC分別ポートフォリオ・レインボー・オールシーズンズの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン・スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・
 プラス・マイニング
 貸借対照表

2025年12月31日現在

(単位：日本円)

資産

マスターファンドへの投資	474,061,499
現金	146,037,178
外貨建て現金（原価：817,167円）	946,458
関連会社に対する債権	4,023,746
その他の資産	618,188
	625,687,069

負債

前受購入申込金	2,000,000
マスターファンドへの未払金	146,326,118
未払金及び未払費用	4,929,697
	153,255,815

純資産

472,431,254

円ヘッジ無しクラス受益証券1口当たり純資産

発行済 2,900,958 口に基づく

(単位：日本円)

162.85円

添付の注記並びにスーパーファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング・ファンド分別ポートフォリオの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・
 プラス・マイニング
 損益計算書

2025年6月4日（運用開始）から2025年12月31日までの期間
 （単位：日本円）

マスターファンドから配分された正味投資損失	
受取利息	41,035
配当金収入（源泉徴収税 112,999円 控除後）	557,023
費用	(3,829,085)
マスターファンドから配分された投資損失の合計	(3,231,027)
管理会社により補填された費用	(3,087,296)
マスターファンドから配分された正味投資損失	(143,731)
サブファンドの費用	
受託会社報酬	1,723,868
販売会社報酬	1,663,173
専門家報酬	2,409,579
事務管理報酬	730,467
代行協会員報酬	147,906
支払利息	21
その他費用	136,368
サブファンドの費用の合計	6,811,382
管理会社により補填された費用	(5,184,399)
サブファンドの正味費用	1,626,983
正味投資損失	(1,770,714)

添付の注記並びにスーパーファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング・ファンド分別ポートフォリオの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・
 プラス・マイニング
 損益計算書（続き）

2025年6月4日（運用開始）から2025年12月31日までの期間
 （単位：日本円）

サブファンドの外貨に係る正味実現損失及び未実現利益の変動

外貨に係る正味実現損失	(132, 553)
外貨に係る未実現利益の変動	129, 291
	(3, 262)

マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る
 正味実現利益及び未実現利益の変動

投資及び外貨に係る正味実現利益	10, 210, 938
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	136, 291, 930
	146, 502, 868

営業活動から生じた純資産の正味増加額

144, 728, 892

添付の注記並びにスーパーファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング・ファンド分別ポートフォリオの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・
 プラス・マイニング
 純資産変動計算書

2025年6月4日（運用開始）から2025年12月31日までの期間
 （単位：日本円）

営業活動

正味投資損失	(1, 770, 714)
投資及び外貨に係る正味実現利益	10, 078, 385
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	136, 421, 221
	144, 728, 892

資本取引

円ヘッジ無しクラス受益証券の発行	327, 702, 362
	327, 702, 362

当期純資産増加額

472, 431, 254

期首純資産残高

—

期末純資産残高

472, 431, 254

期末純資産残高の内訳：

円ヘッジ無しクラス	472, 431, 254
	472, 431, 254

添付の注記並びにスーパーファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング・ファンド分別ポートフォリオの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン・スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーン
貸借対照表

2025年12月31日現在

(単位：日本円)

資産

マスターファンドへの投資	349,053,328
現金	45,782,782
外貨建て現金（原価：1,007,434円）	1,018,547
関連会社に対する債権	3,985,350
その他の資産	595,903
	400,435,910

負債

前受購入申込金	400,000
マスターファンドへの未払申込金	47,226,884
未払金及び未払費用	4,788,120
	52,415,004

純資産

348,020,906

円ヘッジ無しクラス受益証券1口当たり純資産
発行済 431,130 口に基づく（単位：日本円）

米ドル	円
—	125.50

米ドル・クラス受益証券1口当たり純資産：
発行済 1,626,728 口に基づく（単位：米ドル）

1.15 182.90

添付の注記並びにスーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC及びスーパーファンド・ブラック・ブロックチェーン・ファンド分別ポートフォリオの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーン
損益計算書

2025年6月4日（運用開始）から2025年12月31日までの期間
（単位：日本円）

マスターファンドから配分された正味投資損失

受取利息	46,537
費用	(2,212,987)

マスターファンドから配分された投資損失の合計	(2,166,450)
------------------------	-------------

サブファンドの費用

受託会社報酬	1,727,658
販売会社報酬	2,130,505
専門家報酬	2,437,730
事務管理報酬	728,817
代行協会員報酬	23,467
支払利息	21
その他費用	136,456

サブファンドの費用の合計	7,184,654
--------------	-----------

管理会社により補填された費用	(5,274,336)
----------------	-------------

サブファンドの正味費用	1,910,318
-------------	-----------

正味投資損失	(4,076,768)
--------	-------------

添付の注記並びにスーパーファンド・ブラック・ブロックチェーン・ファンド分別ポートフォリオの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンースーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーン
 損益計算書（続き）

2025年6月4日（運用開始）から2025年12月31日までの期間
 （単位：日本円）

サブファンドの外貨に係る正味実現利益及び未実現利益の変動

外貨に係る正味実現利益	866,784
外貨に係る未実現利益の変動	11,113
	877,897

マスターファンドから配分された投資及び外貨に係る
 正味実現利益及び未実現利益の変動

投資及び外貨に係る正味実現利益	36,960,377
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	31,303,078
	68,263,455

営業活動から生じた純資産の正味増加額

65,064,584

添付の注記並びにスーパーファンド・ブラック・ブロックチェーン・ファンド分別ポートフォリオの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパンスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーン
純資産変動計算書

2025年6月4日（運用開始）から2025年12月31日までの期間
（単位：日本円）

営業活動

正味投資損失	(4, 076, 768)
投資及び外貨に係る正味実現利益	37, 827, 161
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	31, 314, 191
	65, 064, 584

資本取引

円ヘッジ無しクラス受益証券の発行	48, 760, 000
米ドル・クラス受益証券の発行	234, 196, 322
	282, 956, 322

当期純資産増加額	348, 020, 906
----------	---------------------

期首純資産残高	-
---------	---

期末純資産残高	348, 020, 906
---------	---------------------------

期末純資産残高の内訳：

円ヘッジ無しクラス	54, 106, 508
米ドル・クラス	293, 914, 398
	348, 020, 906

添付の注記並びにスーパーファンド・ブラック・ブロックチェーン・ファンド分別ポートフォリオの財務諸表は、これらの財務諸表の重要な一部である。

スーパーファンド・ジャパン

財務諸表注記

2025年12月31日現在

(単位：日本円及び米ドル)

1. 設立及び主な活動

スーパーファンド・ジャパン（以下、「当信託」という。）は、UBSファンド・サービスズ（ケイマン）リミテッド（以下、「退任受託会社」という。）及びスーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（2024年9月6日までは“Manager”であり、以降は“Advisor”。以下、「管理会社」という。）の間で締結された信託証書（以下、「信託証書」という。）に従ってケイマン諸島の法律に基づいて設立された。当信託は、信託証書に従ってケイマン諸島の信託法に基づいて2009年6月5日に組織された。当信託はケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法（改正）に基づいて登録されている。退任・指名・変更証書に従い、2015年5月8日付でハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッド（以下、「受託会社」という。）が当信託の受託会社に指名された。受託会社の当信託に関する主な営業拠点はケイマン諸島である。

当信託はオープン・エンド型のアンブレラ・ファンドであり、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン、スーパーファンド・グリーンCジャパン、スーパーファンド・ジャパンサブファンド・レインボー・オールシーズンズ、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラスマイニング及びスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーン（以下、それぞれ「サブファンド」、及び総称して「サブファンズ」という。）が設定されている。各サブファンドは独立した資産及び負債のプールとして、他のサブファンドと分別して管理されている。スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラスマイニング及びスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーンは2025年6月4日に運用を開始した。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンは、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの分別ポートフォリオBに投資している。

スーパーファンド・グリーンCジャパンは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーンSPC（以下、「グリーン・マスターファンド」という。）の分別ポートフォリオCに投資している。グリーン・マスターファンド、すなわちスーパーファンド・グリーンSPCは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・マスター（以下、「グリーン・アンダーライニング・マスターファンド」という。）に投資している。グリーン・アンダーライニング・マスターファンドの目的は、株式及び証券市場の動きの影響を受けない投資形態として、平均以上の長期的なキャピタル・ゲインを達成するための投資を投資家に提供することである。グリーン・アンダーライニング・マスターファンドは、投資機会及び取引戦略を利用する意向であるため、対象とする先物投資の特性に関する見解を事前に決めているわけではなく、どのような制約も受けることはない。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、そ

の資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC（以下、「グリーン・ゴールド・マスターファンド」という。）のスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター・分別ポートフォリオに投資している。グリーン・ゴールド・マスターファンドの目的は、テクニカル分析の利用を通じて長期のキャピタル・ゲインを達成することである。グリーン・ゴールド・マスターファンドは、金先物を含む様々な種類の先物契約にその資産を投資しており、金現物にも投資する場合がある。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンドSPC（以下、「レインボー・オールシーズンズ・マスターファンド」という。）の分別ポートフォリオであるレインボー・オールシーズンズ・ファンドに投資している。

レインボー・オールシーズンズ・マスターファンドの目的は、先物及び／又は先渡契約のレバレッジ取引を通じて資産増価を達成することである。レインボー・オールシーズンズ・ファンド分別ポートフォリオは主にロングオンリーのリスクパリティ戦略を採用し、この目的を追求する。この戦略は、スーパーファンドグループ関連会社により開発された独自のトレーディング戦略を運用している。さらに他の戦略も限られた重みづけで合わせて使用される可能性がある。また、これらの戦略は、先物及び／又は先渡契約を空売りする可能性がある。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニングは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの分別ポートフォリオであるスーパーファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング・ファンド（以下、「ゴールド・シルバー・プラス・マイニング・マスターファンド」という。）に投資している。

ゴールド・シルバー・プラス・マイニング・マスターファンドの投資目的は、貴金属市場の実績への高いシェアを獲得することであり、この目的を達成するため、主として金及び銀に焦点を当てた株式、証書、ETF、その他の有価証券及びファンドへ投資する。また、パラジウム、プラチナ、その他の金属についても投資対象に含めている。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーンは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの分別ポートフォリオであるスーパーファンド・ブラック・ブロックチェーン・ファンド（以下、「ブラック・ブロックチェーン・マスターファンド」という。）に投資している。

ブラック・ブロックチェーン・マスターファンドの投資目的は、ブロックチェーン関連業界の実績への高いシェアを獲得することであり、この目的を達成するため、主として世界中のブロックチェーン・テクノロジーに焦点を当てる株式、証書、その他の有価証券及びファンドへ投資する。当該投資はブロックチェーンのエコシステムに参加する若しくは今後参加する可能性を有する上場企業を対象として行われる。かかる企業は、公的に認識されている1つ以上のブロックチェーン・エクイティ指数を構成する企業でなければならない。

グリーン・マスターファンド、レインボー・オールシーズンズ・マスターファンド、ゴールド・シルバー・プラス・マイニング・マスターファンド及びブラック・ブロックチェーン・マスターファンドを総称して「マスターファンド」という。グリーン・アンダーライニング・マスターファンドは「アンダーライニング・マスターファンド」という。

管理会社は、代行協会員契約に従って、スーパーファンド・ジャパン株式会社（以下、「販売会社」という。）を当信託の日本における代行協会員に選任している。代行協会員は1口当たり純資産価額を公表し、日本証券業協会（以下、「JSDA」という。）に財務諸表を提出する責任を有している。当信託の年次監査済財務諸表は、日本における開示義務の一環として有価証券報告書及び有価証券届出書に含まれており、関東財務局に提出されている。グリーン・マスターファンド、グリーン・アンダーライニング・マスターファンド、レインボー・オールシーズンズ・マスターファンド、ゴールド・シルバー・プラス・マイニング・マスターファンド及びブラック・ブロックチェーン・マスターファンドの財務諸表は本報告書に含まれており、当信託の財務諸表と共に読まれるべきである。

2. 重要な会計方針

当財務諸表は、米国会計基準審議会（以下、「FASB」という。）の会計基準編纂書（以下、「ASC」という。）に詳述される米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「GAAP」という。）に従って作成されている。当信託はGAAPにおける投資会社に該当するため、FASB ASC 946「金融サービス-投資会社」に規定される投資会社向けの会計・報告指針に従っている。

当信託が適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（a）見積りの使用

GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに当報告期間中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（b）ファンドへの投資（公正価値）

投資ファンドへの投資は、その純資産価額（以下、「NAV」という。）で表示されており、投資ファンドの経営陣により報告される。投資ファンドに適用される契約上の買戻し及び流動性に関する条件に基づいて、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが保有する投資ファンドにおける持分を売却する際には、当該投資ファンドのNAV報告額のうち該当する金額で、当該投資ファンドと共に取引が行われる。ASU-2015-07により、実務上の簡便法としてNAVを用いて投資対象の公正価値を測定し、これらのすべての投資対象を公正価値の階層に分類するための要件が撤廃された。実務上の簡便法としてNAVを用いて算出された2025年12月31日現在の資産額は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが2,110,278,392円であった。

添付の損益計算書において、投資ファンドへの投資に係る正味実現利益及び未実現利益は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンに対して生じた利息、配当、費用、有価証券の取引に係る実現損益及び未実現損益、並びに投資ファンドからの報酬の持分相当額を含めて計上した。評価には不確実性を伴うため、NAVの見積もりは、既存の証券市場が存在した場合に使用されると考えられる価値、又は自己売買により得られる可能性のある価値と異なる場合があり、その差異が大きい可能性がある。

(c) マスターファンドの分別ポートフォリオへの投資

マスターファンドの分別ポートフォリオへの投資は、取引日基準で会計処理されている。投資は当初は原価で測定され、当初認識後は公正価値で測定される。公正価値は、当信託に帰属する純資産（マスターファンドの事務管理会社により報告される。）に基づき決定される。投資に係る実現損益及び未実現損益は、損益計算書に計上される。マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドの投資に関する評価方針は、本報告書に含まれているマスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドの財務諸表注記に記載されている。

(d) 投資収益及び費用

各サブファンドは、期首現在のマスターファンドの分別ポートフォリオの純資産価額に対する持分割合に基づき、マスターファンドの分別ポートフォリオの収益、費用並びに実現損益及び未実現損益の持分相当額を、週次で損益計算書に計上している。また、各サブファンドの収益及び費用についても発生主義で計上している。

(e) 1口当たり純資産価額

1口当たり純資産価額（以下、「1口当たりNAV」という。）は、日本円、米ドル及び金・銀の単位オンスで表示されており、特定のクラスに帰属するサブファンドの純資産価額を、計算時における当該クラスの発行済み受益証券口数で除し、金・銀の単位オンスで表示されている受益証券については、さらに評価日におけるロンドンの金・銀1オンス当たりの午前決め値で除することで計算される。

(f) 受取利息及び支払利息

受取利息及び支払利息は発生主義で計上されている。

(g) 現金

現金は日本円建て及び外貨建ての要求払いの預金及び利付預金から構成されており、いずれも当初の満期が3ヶ月以内で流動性が高いとみなされている。

(h) 外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日現在で適用される為替レートで日本円に換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで日本円に換算される。換算によって生じる実現損益及び未実現損益は、損益計算書に含まれる。当信託は投資に係る為替レートの変動により生じる損益と保有有価証券の市場価格の変動により生じる損益を区別していない。このような変動は、投資及び外貨に係る正味実現損益及び未実現損益に含まれる。

(i) マスターファンドからの未収金

マスターファンドからの未収金は、マスターファンドからの未払買戻金である。

(j) 前受申込金

前受申込金は、申込の通知を受理し、申込金額を受領した時点で計上されている。

(k) 法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当信託は、税制優遇措置法第6条に従って、2059年6月5日までの期間における将来の収益又は利益に関するすべての現地における税金を免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督より受け取っている。よって、法人税等に関する引当金はこれらの財務諸表に含まれていない。

当信託は、税務調査が実施された場合に、テクニカル・メリットに基づいて容認される可能性が高い（50%超の確率）不特定のタックス・ポジションについてのみ税務便益を認識している。当信託は、すべての主要な税管轄区域におけるすべての税務調査対象年度について分析を行っている。税務調査対象年度とは、各管轄区域の出訴期限法で定義された税務当局による税務調査の対象となりうる年度である。

経営陣は、当信託のタックス・ポジションを分析した結果、未確定のタックス・ポジションに関して、税務費用に係る負債又は税務便益に係る資産を計上する必要はないと判断した。さらに経営陣は、今後12ヶ月の間に未認識の税務便益の合計額が著しく変化する合理的な可能性のあるタックス・ポジションも存在しないと考えている。

(l) 収益及び費用の配分

特定のサブファンドに関連付けることが可能な収益及び費用は、純資産価額の算定において、各サブファンドに配分又は費用計上されている。その他の収益及び費用は、サブファンド間で比例配分されるか、あるいは受託会社の判断により配分されている。

(m) ファンドへの投資に関する未収金

未収金は、買戻通知で請求する金額が確定した時点で資産に計上される。一般的に、未払金は、その請求の性質に応じて、対象投資ファンドが当該通知を受領した時点又は会計年度の最終日の時点で発生する場合がある。

(n) 未払買戻金

買戻しは、買戻し請求通知書に記載された金額が確定した時点で負債として認識される。その結果、年末時点のサブファンドの純資産価額に基づき期末後に支払われた買戻しについては、2025年12月31日時点の未払買戻金に計上されている。

(o) 公正価値による投資の評価 — 定義及び階層

USGAAPは公正価値の階層を規定しており、公正価値を測定する際に用いられる評価手法への入力データの優先順位を、以下に説明される3つのレベルに分類している。

レベル1： 活発な市場における同一資産又は負債について経営陣が入手可能な未調整の相場価格に基づく評価。レベル1の有価証券に対しては、評価調整及び大量保有による割引価値の利用は適用されない。評価は活発な市場において容易にかつ定期的に入手可能な相場価格に基づいているため、当該レベルに分類される有価証券の評価については重要な判断は必要とされない。

レベル２： 活発でない市場における相場価格、あるいは重要なデータがすべて直接又は間接的に観察可能な価格に基づく評価。

レベル３： 公正価値測定の全体に対して重要であるが観察不能なデータに基づく評価。

マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドが保有する投資の公正価値の階層については、本報告書に含まれているそれぞれの財務諸表の注記に開示されている。

(p) 最近の会計基準

当信託は、最近公表された会計基準の改正等を検討した結果、これらを適用しても当信託の財務諸表及び関連開示に重要な影響を及ぼすことはないと判断している。

3. 金融商品

市場リスク、信用リスク及び流動性リスク

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン

通常の事業の過程において、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンは、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクを招く可能性のある様々な金融商品を売買しており、そのリスクの金額は、財務諸表からは明白ではない。

市場リスクとは、金利、為替レート又は株式及びコモディティ価格の変動が、投資対象となるアンダーライニング・ファンドが保有しているポジションに影響を及ぼすリスクである。結果的に、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンは、これらのファンドが保有している投資対象を通じて、市場価格で評価されている金融商品に関して市場リスクにさらされている。

信用リスクとは、契約相手が債務不履行に陥るリスクである。信用リスクは、通常、取引所外で金融商品の取引を行う場合に高くなる。これは、取引所外で取引される金融商品の契約相手は、取引所清算機関の履行保証を受けていないためである。

流動性リスクとは、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが目的を達成するために行う資金調達において困難が生じるリスクである。流動性リスクは、公正価値に近い金額で投資対象を速やかに売却できなかったことにより生じる場合がある。管理会社は、ファンドへの投資に際して、その株式又は受益証券を合理的な期間内に買い戻すための機会を提供するファンドを選んで投資することを目指すものの、買戻しが請求された際に、常に、その請求どおりに買戻し処理を行うのに十分なほど当該投資ファンドの投資対象が流動的であるとの保証はない。流動性が不足すると、受益証券の流動性及び投資価値に影響を及ぼす場合がある。

スーパーファンド・グリーンCジャパン、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング及びスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーン

スーパーファンド・グリーンCジャパン、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング及びスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーンのマスターファンドへの投資は、これらを通じて間接的に、マスターファンドの投資対

象である金融商品及び市場に関連する多様なリスクにさらされている。

スーパーファンド・グリーンCジャパン、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング及びスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーンがさらされている金融リスクの種類は、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクである。スーパーファンド・グリーンCジャパン、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング及びスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーンがさらされている金融リスクに関しては、マスターファンドの財務諸表を参照のこと。

マスターファンドが保有する投資に関する詳細（投資を公正価値で測定する際に用いられる市場価格の観察可能性のレベルに関する内訳を含む。）については、本報告書に含まれているマスターファンドの財務諸表の注記2に開示されている。

4. 受益証券保有者資本

	口数
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
ゴールド円クラス：	
期首残高	9,665,072
期中の発行	22,513
期中の買戻し	(4,386,514)
	5,301,071
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
シルバー円クラス：	
期首残高	1,547,134
期中の発行	79,020
期中の買戻し	(151,846)
	1,474,308

	口数
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
円クラス：	
期首残高	6,566,858
期中の発行	57,151
期中の買戻し	(567,274)
	6,056,735
ゴールド米ドル・クラス：	
期首残高	562,807
期中の発行	78,199
期中の買戻し	(22,081)
	618,925
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
シルバー米ドル・クラス：	
期首残高	2,320,988
期中の発行	(2,185,629)
	135,359
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン	
米ドル・クラス：	
期首残高	1,450,638
期中の買戻し	(161,719)
	1,288,919
スーパーファンド・グリーンCジャパン	
円クラス：	
期首残高	1,367,158
期中の買戻し	(81,362)
	1,285,796

	口数
スーパーファンド・グリーンCジャパン	
米ドル・クラス：	
期首残高	1,435,539
期中の買戻し	(338,318)
	1,097,221
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ	
ゴールド円クラス：	
期首残高	3,517,718
期中の発行	2,390,833
期中の買戻し	(928,740)
	4,979,811
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ	
円クラス：	
期首残高	1,711,547
期中の買戻し	(568,130)
	1,143,417
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・	
プラス・マイニング	
円ヘッジ無しクラス：	
期首残高	-
期中の発行	2,900,958
	2,900,958
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーン	
円ヘッジ無しクラス：	
期首残高	-
期中の発行	431,130
	431,130
スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーン	
米ドル・クラス：	
期首残高	-
期中の発行	1,626,728
	1,626,728

各サブファンドには、最低申込単位が設定されている。スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング及びスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーンは、5,000口以上で100口ごとに申込みが可能で、スーパーファンド・グリーンCジャパンは、100,000口以上で100口ごとに申込みが可能である。販売会社は、管理会社と協議のうえ、特定の申込みについてはこれらの条件の全体又は一部を免除することができる。

信託証書に記載されている場合を除き、すべての受益証券は平等であり、ほぼ同等の権利及び条件を有している。

受益証券の申込みには申込手数料が適用される。特定の投資家の申込みに適用される申込手数料は、当該投資家による各シリーズの申込総額（以下、「購入金額」という。）に基づき決定される。各申込みに適用される申込手数料は、購入金額に5.50%（税抜きでは5%）を上限とする料率を乗じた金額である。

受益証券保有者は、通常、当信託の販売会社に対してそれぞれの評価日の2ファンド営業日前までに事前に通知することで、各「買戻日」（それぞれの評価日の翌ファンド営業日、又は管理会社が当該受益証券の償還を行うことを許可したその他の日）に保有する受益証券のすべて又は一部の買戻しを当信託の販売会社に対して請求することができる。当該買戻しは、当該評価日時点における受益証券1口当たりの純資産価額にて行われる。

当初申込みから12ヶ月以内に買戻請求が行われるか、あるいは当信託による強制的な買戻しが行われる場合、管理会社の単独の裁量により、当信託から受益証券保有者に対して、買戻価格の2%の買戻手数料が課される場合がある。当該買戻手数料の請求は当信託の利益のために行われる。

管理会社の単独の裁量により認められる場合を除き、受益証券保有者は、いかなる状況においても、買戻後の保有残高が各シリーズにおける最低当初投資額を下回るような一部買戻しを請求することはできない。

5. 管理報酬

当信託の投資活動は、共通支配下に置かれている関連当事者である管理会社により管理されている。投資顧問契約に基づいて、管理会社は、各サブファンドの純資産価額の0.1%（年率）相当の月次管理報酬を後払いで受領している。

2025年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払管理報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが333,941円、スーパーファンド・グリーンCジャパンが17,837円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズが170,882円である。

6. 成功報酬

各サブファンドのレベルで支払われる成功報酬はない。マスターファンドが支払う成功報酬については、本報告書に添付されているマスターファンドの財務諸表注記に開示されている。

7. 販売会社報酬

関連会社であるスーパーファンド・ジャパン株式会社（「販売会社」）はスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング及びスーパーファンド・ジャパン・ブラック・ブロックチェーンの販売会社として、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ純資産価額の0.6%（年率）、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニングの1.0%（年率）、スーパーファンド・ジャパン・ブラック・ブロックチェーンの1.0%（年率）相当の報酬を毎月受領する権利を有している。

2025年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払販売会社報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズが537,511円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニングが385,577円、スーパーファンド・ジャパン・ブラック・ブロックチェーンが319,859円である。その他のサブファンドについては未払販売会社報酬はない。その他のサブファンドにつきマスターファンドが支払う販売会社報酬については、本報告書に添付されているマスターファンドの財務諸表注記に開示されている。

8. 代行協会員報酬

代行協会員は、各サブファンドの純資産価額の0.1%（年率）相当の報酬を受領する権利を有している。

2025年12月31日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払代行協会員報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが177,030円、スーパーファンド・グリーンCジャパンが9,288円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズが89,585円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニングが38,558円、スーパーファンド・ジャパン・ブラック・ブロックチェーンが23,467円である。

9. 受託会社報酬

2015年5月8日付で、ハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッド（以下、「受託会社」という。）が、当信託の受託会社となった。

信託証書に規定されたとおり、当信託は、各サブファンドにつき年間11,000米ドルの報酬を受託会社に支払うことに合意している。

2025年12月31日現在のその他費用に含まれている先払受託会社報酬は、サブファンド・グリーンが2,368,624円、スーパーファンド・グリーンCジャパンが2,368,624円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズが0円である。

2025年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている受託会社報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニングが1,723,868円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーンが1,727,658円である。

10. 事務管理報酬

NAVファンド・アドミニストレーション・グループが、当信託の事務管理会社に任命されている（以下、「当事務管理会社」という。）。事務管理契約に基づいて、当信託はNAVファンド・アドミニストレーション・グループに対し、毎月最終評価日において計算された報酬を後払いで支払っており、その金額はスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン、スーパーファンド・グリーンC ジャパン及びスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズそれぞれにつき年間7,980米ドル、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング及びスーパーファンド・ジャパン・ブラック・ブロックチェーンそれぞれにつき年間6,900米ドルである。

2025年12月31日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払事務管理報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが319,699円、スーパーファンド・グリーンC ジャパンが319,699円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズが302,717円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニングが376,117円、スーパーファンド・ジャパン・ブラック・ブロックチェーンが306,267円である。

11. 関連当事者間取引

管理会社及び販売会社は、共通支配下に置かれている関連当事者である。管理会社及び販売会社に支払われる報酬は、独立第三者間条件に基づく交渉により設定されたものではない。

当信託は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンを通じて、スーパーファンドの投資会社グループの一部である対象ファンドへ投資している。2025年12月31日現在、この対象ファンドが保有するスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンの純資産の公正価値は、純資産において99.66%を占める2,110,278,392円である。期中において、その他のスーパーファンドの関連投資会社の売却と外貨建て取引に係る実現損失は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンが9,260,850円であった。

12. 公正価値

2025年12月31日現在、経営陣は、各クラスの金融商品の公正価値を見積るために以下の手法及び仮定を使用した。現金、外貨建て現金、ファンドへの投資に関する未収金、マスターファンドからの未収金、その他の資産、未払買戻金、前受申込金並びに未払金及び未払費用を含む当信託の特定の金融商品に関しては、これらの金融商品が直ちに期日を迎える又は短期的な性質のものであるため、帳簿価額は公正価値に近似している。

公正価値の見積りは、市況及び金融商品に関する情報に基づいて、特定の時点に行われる。これらの見積りは本来主観的なものであり、不確定要因及び重要な判断を伴うため、正確に行えるものではない。仮定の変更により、見積りに重要な影響を及ぼす可能性がある。マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドが保有する投資の公正価値測定の分類に関する情報については、マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドの財務諸表を参照のこと。

スーパーファンド・ジャパン

財務諸表注記（続き）

2025年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン
1株当たりの業績（期中発行済み受益証券1口に関して）⁽¹⁾

	ゴールド円クラス	円クラス	シルバー円クラス
	(円)	(円)	(円)
期首受益証券1口当たりの純資産価額	129.50	43.69	83.78
投資活動による収益			
正味投資損失	(1.88)	(0.84)	(2.10)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現利益の変動	108.05	7.22	98.01
投資活動による利益／（損失）合計	106.17	6.38	95.91
期末受益証券1口当たり純資産価額	235.67	50.07	179.69
総利回り ⁽²⁾	81.98%	14.60%	114.48%
補足情報：			
平均純資産比率			
営業費用及びその他費用	(1.23)%	(1.96)%	(2.09)%
正味投資損失	(1.23)%	(1.96)%	(2.09)%

(1) 期中平均発行済み口数に基づく。

(2) 各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。

スーパーファンド・ジャパン

財務諸表注記（続き）

2025年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト（続き）
 スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン
 （続き）
 1 株当たりの業績（期中発行済み受益証券に関して）⁽¹⁾

	ゴールド米ドルクラス	米ドルクラス	シルバー米ドルクラス
	(米ドル)	(米ドル)	(米ドル)
期首受益証券1口当たり純資産価額	0.83	0.49	0.79
投資活動による収益			
正味投資損失	(0.01)	(0.01)	(0.02)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現利益の変動	0.70	0.10	0.93
投資活動による利益／（損失）合計	0.69	0.09	0.91
期末受益証券1口当たり純資産価額	1.52	0.58	1.70
総利回り ⁽²⁾	83.13%	18.37%	115.19%
補足情報：			
平均純資産比率			
営業費用及びその他費用	(1.39)%	(1.99)%	(1.35)%
正味投資損失	(1.39)%	(1.99)%	(1.35)%

(1) 期中平均発行済み口数に基づく。

(2) 各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。

スーパーファンド・ジャパン

財務諸表注記（続き）

2025年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト（続き）

スーパーファンド・グリーンCジャパン

1株当たりの業績（期中発行済み受益証券1口に関して）⁽¹⁾

期首受益証券1口当たり純資産価額

投資活動による収益

正味投資損失

投資及び外貨に係る正味実現及び未実現利益の変動

投資活動による利益／（損失）合計

期末受益証券1口当たり純資産価額

円クラス	米ドルクラス
(円)	(米ドル)
33.09	0.32
(3.06)	(0.03)
6.36	0.09
3.30	0.06
36.39	0.38
9.97%	18.75%
(12.30)%	(12.20)%
(9.76)%	(9.53)%

総利回り⁽²⁾

補足情報：

平均純資産比率

営業費用及びその他費用

正味投資損失

(1) 期中平均発行済み口数に基づく。

(2) 各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。

スーパーファンド・ジャパン

財務諸表注記（続き）

2025年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト（続き）

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ
1株当たりの業績（期中発行済み受益証券1口に関して）⁽¹⁾

期首受益証券1口当たり純資産価額

投資活動による収益

正味投資損失

投資及び外貨に係る正味実現及び未実現利益の変動

投資活動による利益／（損失）合計

期末受益証券1口当たり純資産価額

総利回り⁽²⁾

補足情報：

平均純資産比率

営業費用及びその他費用

正味投資損失

(1) 期中平均発行済み口数に基づく。

(2) 各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。

ゴールド円クラス	円クラス
(円)	(円)
105.43	33.14
(6.16)	(1.74)
101.53	17.14
95.37	15.40
200.80	48.54
90.46%	46.47%
(2.27)%	(2.26)%
(4.34)%	(4.33)%

スーパーファンド・ジャパン

財務諸表注記（続き）

2025年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト（続き）

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング
1株当たりの業績（期中発行済み受益証券1口に関して）⁽¹⁾

	円ヘッジ無しクラス (円)
期首受益証券1口当たり純資産価額	100.00
投資活動による収益	
正味投資損失	(0.80)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現利益の変動	62.65
投資活動による利益／（損失）合計	61.85
期末受益証券1口当たり純資産価額	161.85
総利回り ⁽²⁾	61.85%
補足情報：	
平均純資産比率 ⁽³⁾	
営業費用及びその他費用	(3.67)%
管理会社により補填された立替費用	2.85%
正味投資損失	(0.61)%

- (1) 期中平均発行済み口数に基づく。
(2) 各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。
(3) 平均純資産比率は、一時的費用を除外して年換算している。

スーパーファンド・ジャパン

財務諸表注記（続き）

2025年12月31日現在（単位：日本円及び米ドル）

13. 財務ハイライト（続き）

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーン
1株当たりの業績（期中発行済み受益証券1口に関して）⁽¹⁾

	円ヘッジ無しクラス (円)	米ドル・クラス (米ドル)
期首受益証券1口当たり純資産価額	100.00	1.00
投資活動による収益		
正味投資損失	(1.71)	(0.01)
投資及び外貨に係る正味実現及び未実現利益の変動	27.21	0.16
投資活動による利益／（損失）合計	25.50	0.15
期末受益証券1口当たり純資産価額	125.50	1.15
総利回り ⁽²⁾	25.50%	15.00%

補足情報：

平均純資産比率⁽³⁾

営業費用及びその他費用
管理会社により補填された立替費用
補填後の純費用比率

3.71%	3.52%
(2.43)%	(2.34)%
1.28%	1.18%

正味投資損失

- (1) 期中平均発行済み口数に基づく。
(2) 各投資家の利回りは、受益証券の申込み及び買戻しの時期により変動する可能性がある。
(3) 平均純資産比率は、年換算されていない。

(1.27)%	(1.17)%
---------	---------

スーパーファンド・ジャパン

財務諸表注記（続き）

2025年12月31日現在

（単位：日本円及び米ドル）

14. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2026年6月19日までのすべての重要な後発事象を評価し開示した。

2025年12月31日より後に、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーン円ヘッジ無しクラスに対し158,380,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング円ヘッジ無しクラスに対し132,550,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・ゴールド円クラスに対し27,430,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン円クラスに対し23,700,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・シルバー円クラスに対し3,600,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ・ゴールド円クラスに対し24,700,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ・円クラスに対し1,800,000円の申込みが処理された。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング円ヘッジ無しクラスに対し約15,636,072円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・ゴールド円クラスに対し約167,954,463円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン円クラスに対し約9,129,471円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・シルバー円クラスに対し約102,617,911円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レインボー・オールシーズンズ・ゴールド円クラスに対し約3,089,507円、スーパーファンド・ジャパン・レインボー・オールシーズンズ円クラスに対し約530,000円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・ゴールド米ドル・クラスに対し約232,000米ドル、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン・米ドル・クラスに対し約6,668米ドル、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンC・米ドル・クラスに対し約80,405米ドルの買戻しが処理された。

2026年5月19日、販売会社は、当信託の登録受益権者として、当信託の再編が2026年7月1日付で実施されることにつき、同意する決議をした。スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンCのすべての受益証券は償還され、受益者は償還対価としてスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンの対応する各クラスの受益証券を新しく取得する。再編後、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンCは終了する。さらに、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンはスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・トレンドに、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブラック・ブロックチェーンはスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・ブロックチェーンに名称変更される。

4. 費用の明細

(2025年1月1日～2025年12月31日)

項 目		比率又は金額	項 目 の 概 要
管 理 報 酬		当サブファンドの純資産価額の年率0.10%	受託会社、事務管理会社及びカストディアンその他の者との間のやりとり、当サブファンドの活動に関連する契約の管理、申込及び償還を含む投資活動の運用管理の対価
代 行 協 会 員 報 酬		当サブファンドの純資産価額の年率0.10%	日本の法令及び日本証券業協会の規則に従い、受益者への目論見書や財務書類を送付し、純資産価額を公表する等の業務に対する報酬
受 託 会 社 報 酬		当サブファンドにつき年間11,000米ドル	信託証書に従って行う当サブファンドの受託業務に対する報酬
事務管理報酬	当ファンドの事務管理及び振替代行報酬	当サブファンドにつき年間5,400米ドル	各評価日における純資産価額の計算、受益権者名簿の管理、締結された申込に係る契約及び申込の受領並びに処理、電磁的方法による受益証券の発行証明及び保有報告書の作成並びに送付などの役務の対価
	年次財務諸表の作成	当ファンドにつき年間1,500米ドル	関連する規制に則した年次財務諸表（監査済み）の作成及びその補助の対価
販 売 会 社 報 酬		当サブファンドにつき純資産価額の年率1.0%	販売の手配を行うことへの対価
そ の 他 の 費 用 （ 当 期 ）		0.54%	監査費用、その他信託事務の処理に要する諸費用

（注1）各報酬については、目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額を当サブファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

（注2）各項目の費用は、サブファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

（注3）当サブファンドに係る上記諸費用は、対応するマスターファンド（分別ポートフォリオ）の運用資産残高がそれぞれマスターファンドの投資顧問会社が随時決定する一定額に達するまで、当サブファンドに代わり管理会社又はマスターファンドの投資顧問会社が負担するため、当期中に実際にかかった費用は純資産総額の0.34%でした。

5. 当期末における純資産額計算書

(2025年12月31日現在)

サブファンド・ ゴールド・ シルバー・プラス・ マイニング	I 資産総額（円）	625,687,069
	II 負債総額（円）	153,255,815
	III 純資産総額（I－II）（円）	472,431,254
	IV 発行済数量	2,900,958
	V 1単位当たり純資産額（III／IV）（円）	162.85

6. 投資の対象とする有価証券及びその他の資産

(2025年12月31日現在)

	資産の種類	国 名	時価合計 円	投資比率
サブファンド・ ゴールド・ シルバー・ プラス・ マイニング	スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの株式（スーパーファンド・ゴールド・シルバー・プラス・マイニング・ファンド分別ポートフォリオのクラスA（米ドル）の利益参加シェア）	ケイマン諸島	474,061,499	100.35%
	現金、受取債権及びその他の資産（負債控除後）	該当なし	－1,630,245	－0.35%
	純資産総額		472,431,254	100.00%

7. 投資の対象とする不動産、金銭債権及び手形

該当ありません。

8. お知らせ

2026年4月17日付で、当ファンドの受託会社の社名がハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッドから、アセンティウム（ケイマン）リミテッドに変更されました。

以 上